

笠間市地域おこし協力隊 活動報告

No. 26

プロフィール ▶ 島田 奈実 (26歳) 埼玉県より移住

いわま一店逸品カタログの取材

この夏もやはりブユに咬まれた島田です。今年は気を付けていたのに夏の終わりに油断して咬まれてしまいました…。腫れたりアザのようになって大変ですが、水が綺麗だということで納得することにしています。

そろそろ稲刈りが始まって新米の時期だという頃にこの記事を書いています。綺麗な水から育った美味しいお米が楽しみで、田んぼを通りかかるとつい眺めてしまいます。風も心地よいです。

先日は、岩間の商工会からお誘いがあり、「いわま一店逸品カタログ」の取材をさせていただきました。昨年作った笠間のブランドブック「Kasama on air」を見て誘ってくださったそうで大変うれしく思っています。11周年を迎えた「いわま一店逸品カタログ」は10月初旬に発行予定(新聞折り込み)です。「まだまだ知らないお店はあるんだな!」と楽しく取材させていただきました。皆さんもぜひご覧くださいね。



いわま一店逸品カタログ

地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。笠間市では3名の隊員が活動しています。



ブログやフェイスブックも ▶ ブログ▶<http://ameblo.jp/kasamart-wa/>
▶ フェイスブック▶<https://www.facebook.com/Kasamartowa>

【問合せ】まちづくり推進課(内線538)

株式会社想石 笠間市稲田4260-1

・今後の目標は
会社として、過去最高の採石量を安定して採れるようになるため、また良質の石を採ることができるよう、自分自身の石を見る目を養い、腕を磨くことです。

・この会社で良かったと思うことは
石を扱うなかでさまざまなことに挑戦しながら地場産業に携われることです。自分の成長が、完成した石から目に見えて分かり、達成感があります。仲間と協力して、自然という大きな相手に向かって仕事をすることにもやりがいを感じています。

・どのような仕事を担当していますか
山から石を切り出す仕事をしています。ショベルカーやフォークリフトなどの重機を使うほか、火薬作業もしています。
また大きく切り出した石を、形を整えながら割る作業を行っています。石の目を見て割る位置を決め、穴を開けクサビを挿し、ハンマーで叩いて石を割っています。

・働いているときの自分は
採った石がいい石かどうかを見つめることに集中しています。

・笠間の好きなところは
街全体が落ち着いているところです。

今回紹介するのは稲田にある株式会社想石で働く枝川史彬さんです。

〔笠間市在住・入社3年目〕

キラリ! 社会人 がんばる企業応援連絡会

このコーナーは、市内の企業で働くフレッシュな社会人を紹介します。



枝川さん



作業の様子